

地域の大人から学び、教えることで大人も学ぶ — 共育による地域活性化 —

愛知県田原市	● 活動名 田原市地域学校協働本部		● 関係する学校名 田原市内全小中学校	
	開始年度 平成 27 年度	学級数 10 学級	児童・生徒数 337 人	
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()			
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	連携団体・企業等 市民活動団体(ハープの会、たらめ会、里山の会、山遊里)
ボランティアの数	登録人数 24 人	属性	地域住民	
参考 URL	田原市HP http://www.city.tahara.aichi.jp/kosodate/kyoikubunka/1002935/1004287/index.html 田原市立福江中学校インスタグラム アカウント名: fukue_chu			
● 連絡先	田原市教育委員会学校教育課		☎ 0531-23-3679	

● 体制図



● 活動の概要・経緯

田原市では「みんなが幸福を実現できるまち」をまちづくりの理念とし、その重点施策として「ふるさと人材育成プロジェクト」を掲げ、地域との連携による教育活動を推進している。

地域学校協働本部が主体となり、平成 25 年度から共育（ともいく）コーディネーターを配置し、地域全体で子育てを支援する取組を展開している。平成 26 年度からは地域の職業者が講師を担い、各学校で職業について講義を行う「夢 Worker リンク事業」を開始、平成 27 年度からは「学校を核とした地域魅力化事業（創プロジェクト）」を実施し、地域が抱える課題を子供たちと地域ぐるみで考え、解決していくことで、地域コミュニティ強化と人材育成を図っている。

● 活動の特徴・工夫

- 【特徴的な活動内容】**
- 「人材育成」、「地域活性化」、「共育事業実施体制の構築」を3つの柱とし、地域全体で子供を守り育てる意識の向上及び、子供の課題解決能力を高める環境整備を重点に活動内容を協議・検討している。
- ① 子供の学びの支援と大人の地域教育力の向上を図る取組み
「夢 Worker リンク」… 地元企業、地域の人材を講師として各学校に派遣し、職業観や人生観を学ぶキャリア教育として実施している。講師にとっても学びの機会となっている。(ふるさと教育×人材育成)
 - ② 共育コーディネーターを活用した学校支援の取組み
「防災キャンプ事業」… 自治会及びボランティア、企業、消防団など多様な人材が参画し、アイデアを出し合いながら、コーディネーターが意見を総括する。活動に参加することで協力者同士のつながりが生まれる。また、子供を通して学んだ内容を家庭に普及させる取組み内容となっている。(地域防災力強化×地域の人材発掘)
「シニアふれあい事業」… 地域のシニアの知識の継承と生きがいづくり及び子供たちとコミュニティとの絆づくりの一端を担う。コーディネーターが学校とシニア活動のアドバイザー役となっている。(豊かな人づくり×地域コミュニティ強化)
 - ③ 田原市の将来を担う子供を地域で守り育てる意識の向上、子供の学習環境を整える取組み
「地域未来塾」… 地域住民や教員 OB などの人材を活用し、学習支援の場を提供している。(基礎学力向上×地域の担い手育成)

【実施にあたっての工夫】

共育コーディネーターを活用して、学校・地域住民・ボランティア・企業をつなぐ事で、参加者それぞれが別の事業でも連携・協力しやすい体制を構築している。また、地域に埋もれている人材の掘り起こしを行い、地域全体のネットワークに加わってもらうことでさらに活動が広がるように情報発信を行っている。

子供と地域が一緒になって地域の課題について考え、解決策に向けて具体的に行動・実現できるように、学校や地域・企業と調整を行っている。参画者が問題解決能力や自己有用感を高めることができ、さらに一連の活動が地域活性化につながるように工夫している。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・ ふるさと学習が地域の課題を子供たちが自ら考えるよい機会となり、子供たちの地域への愛着を高めることが可能となった。
- ・ 子供たちが自ら課題を持って、地域の大人と共に活動することで、自己有用感が高まり、意欲や想像力を伸ばすことが可能となった。
- ・ ふるさと学習で発見した地域の魅力を、子供たちが具体的な提案や活動へと高め、地域の大人と一緒に実現していくことで地域全体の活性化を図る効果が生まれた。
- ・ 地域の大人から学び、子供に教えることで大人も学ぶという共育（ともいく）による人材育成と地域活性化の実現が可能となった。

● その他

- ・ 学習支援については、「たはら地域未来塾」を平成 28 年度から実施している。現在、市内 3 中学校区で実施。(上記、活動の特徴・工夫に掲載)



「夢 Worker リンク」
講師派遣事業
(田原中部小学校)



「シニアふれあい事業」
子供たちと昔の遊びを体験
(衣笠小学校)

ポイント

コーディネーターが学校、地域、企業、団体等をつなぎ、大人も子供も学ぶ「共育」によって、地域が活性化される様子が分かりますね。